

広行監第3号  
令和2年8月5日

湖北広域行政事務センター  
管理者 若林 正道 様

湖北広域行政事務センター  
監査委員 島寄 浩明  
監査委員 柴田 光男

令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算  
および基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項および第241条第5項の規定に基づき審査に付された令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算および基金運用状況について審査を終了したので、その意見書を次のとおり提出します。

# 令和元年度 湖北広域行政事務センター一般会計 歳入歳出決算審査および基金運用状況審査意見書

## 1. 審査の対象

- (1) 令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

## 2. 審査の期間

令和2年7月9日から同年7月10日

## 3. 審査の方法

令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、関係帳簿、証憑書類等と照合を行い、計数の正確性、予算の執行状況の適否について審査を行いました。

## 4. 審査の結果および意見

### (1) 全般事項

審査に付された令和元年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、関係帳簿証憑書類等と照合のうえ、さらに内容について検討審査した結果、決算は正確であると認められました。

### (2) 新施設整備事業について

センターが現在進めている新斎場整備事業については、令和元年度に新斎場用地造成工事を完了し、令和2年度の竣工に向けて建設を進めていると報告を受けました。新一般廃棄物処理施設整備事業についても、新斎場と同様にPFI方式（BTO方式）を導入していくことを機関決定された旨の説明がありましたので、計画どおりに事業が進められるよう引き続き取り組んでいただきたいと思います。

また、将来的な新施設の円滑な稼働に向けて、職員力向上のための人材育成研修の実施や、各職員が能力を発揮できるような環境づくりをお願いします。

さらに、現在、国内外で感染が拡大している新型コロナウイルスの影響や多様化する自然災害など、一時的にごみ量が増加する想定外の事態へ対応できるような体制づくりの確立が求められます。これまでの経験を活かし、今後も引き続き環境整備に取り組んでいただきますようお願いします。

### (3) 現施設の適正管理について

新施設への移転を控え、現施設の維持管理については、残りの稼働期間を見据え、運転方法の見直しや効率化を図るなど、投資を極力抑えつつ、安定稼働を継続するようお願いします。

#### (4) 安全面について

昨年度については、事故が散見され、重大な労災事故になった事例もあったと聞いています。再度、安全教育の徹底を図りながら、安全な職場環境づくりを行っていただきたいと思います。

#### (5) むすび

センターが担う業務は市民生活の公衆衛生確保のために必要不可欠であり、安定的に処理を継続することが求められます。今後についても、職員が一丸となり、業務が円滑に遂行されることを期待します。

### 5. 審査の概要

#### (1) 決算総括

令和元年度における一般会計の予算総額は、32億9,500万円で、これに対する決算総額は、歳入は33億4,011万6,959円、歳出は30億7,868万1,875円、歳入歳出差引総額、実質収支額は2億6,143万5,084円となっています。

平成30年度の実質収支額が2億8,112万4,570円であったことから、単年度収支は1,968万9,486円のマイナスとなっています。

#### (2) 歳入総括

収入済総額の予算額に対する比率は101.37%となっています。調定額に対する収納比率については、99.87%となっており、使用料および手数料と諸収入（資源ごみ売却）とを合わせ、419万8,000円の収入未済額がありました。

収入総額に対する割合（構成比）については、分担金及び負担金が64.82%、使用料及び手数料が13.99%、国庫支出金が0.51%、財産収入が0.05%、繰入金が0.79%、繰越金が12.46%、諸収入が1.21%、組合債が6.17%となっており、分担金及び負担金が収入の約6割を占める結果となっています。

#### (3) 歳出総括

予算額に対する執行率は93.43%となり、支出済総額は前年度比127.08%となっています。これは、旧し尿処理施設（旧伊香衛生プラント）の解体、新斎場用地の造成工事等に伴い、衛生費の支出が前年度比6億3,625万4,864円の増となったことが大きな要因となっています。

歳出総額に対する割合（構成比）は、議会費が0.05%、総務費が3.82%、衛生費が95.25%、公債費が0.88%となっており、歳出全体において衛生費が多くを占める結果となっています。

#### (4) 財産に関する調書

##### ア 土地

施設の集約に伴い廃止をしていた旧し尿処理施設（旧伊香衛生プラント）を解体し、長浜市が進める事業用地に充てるため、用地の譲与を行っています。

##### イ 建物

施設の集約に伴い廃止をしていた旧し尿処理施設（旧伊香衛生プラント）の解体を行っています。

##### ウ 物品

老朽化に伴い、軽自動車及びダンプトラック各1台の更新を行っています。

##### エ 基金

基金の年度末現在高は、施設整備基金1億7,987万4,030円となっています。